

## あ・と・が・き

今年の冬は日高も例外ではなく暖冬で、雪のない日々が多く、当調教場での若馬のトレーニングも順調に進んでおり、利用頭数も前年同期に比べ伸びてきております。また、屋内坂路馬場延長後の反響も良好で、多くの方々からお礼の言葉を頂きました。今後も調教場利用に支障がないように万全を尽くしてまいります。当センター研修生は、1月から開始した JRA 育成馬での騎乗訓練も 4 月 10 日の育成馬展示会における騎乗供覧で終了し、4 月 13 日に修了式を迎え、全国の育成牧場へと巣立っていきます。また、4 月 11 日には希望に満ちた新研修生が入講してきますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。（Y.H.）

「たづな」欄はヨーロッパの馬の古代史に造詣の深い馬の博物館末崎真澄学芸部長にお願いしました。古代ギリシャやローマでは紀元前 600 年代にはすでに戦車競走や競馬が行なわれていたそうでたいへん興味深い話でした。彼らは当時の馬たちにどのような育成や調教を行っていたのか、機会がありましたらその方法などをお話していただきたいものです。

「サイエンティストからの提言」欄は飼料や栄養管理に詳しい JRA 日高育成牧場朝井副場長に寄稿していただきました。良質のラップサイレージを生産するために 3 年間にわたり調査研究された内容を分かりやすくまとめてもらいました。今年の乾草作りに間に合うようこの号に掲載しました。参考になれば幸いです。

「調査研究」欄は毎年 12 月に JRA 総研や競走馬診療所関係者が一年の締めくくりとして行なう「競走馬に関する調査研究発表会」において発表された演題です。輸送熱はたとえ治癒しても肺に多くのダメージを与え、競走馬としての能力を大きく低下させます。予防に優る治療はありません。費用もそれほど高価ではないようで、試す価値はあると思われませんが、いかがでしょうか。

3 月に BTC 役員の人事異動があり、専務理事に杉本 修（前共栄商事常務取締役）が就任し、前専務理事の赤塚洋文は退任しました。これに伴い本誌の編集責任者も杉本 修となります。今後もよろしく願いいたします。（H.H.）